

武蔵野美術大学大学院

造形研究科 博士後期課程

2026 年度学生募集要項

入学試験に関する問い合わせ、出願資料提出先

武蔵野美術大学入学センター

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736

電話：042-342-6995（日曜・祝日を除く 9:00～16:30）

Email: nyushi@musabi.ac.jp

試験日を含め受験生へのお知らせは大学 web サイトに掲載します。

<https://www.musabi.ac.jp/>

1. アドミッションポリシー

造形研究科 博士後期課程 造形芸術専攻

武蔵野美術大学は幅広い教養を備え人格的にも優れた美術家やデザイナーなど、造形芸術の専門家を養成してきました。本学では次のような学生を求めています。

1. 造形芸術に関する高度な創造、表現の技術と理論を研究しようとする人
2. 高度な能力および豊かな学識に基づいて、自立して創作、研究活動を行い、さらに研究指導者として文化創造の発展に寄与し、国際社会で活躍しようとする人

2. 出願にあたっての注意

- 出願書類に不備があった場合は、出願が無効となる場合があります。
- 出願書類に虚偽の記載のあった場合、合格を取り消すことがあります。
- 受理した出願書類および検定料は本人の責任に抛らない場合も含め、理由の如何を問わず返還しません。

3. 個人情報の利用について

武蔵野美術大学大学院が入学試験実施にあたり取得した住所、氏名、その他の個人情報は、学校法人武蔵野美術大学個人情報保護基本方針に則り、入学試験業務、奨学金業務、授業料等に関する業務に利用します。
また、個人が特定されないように集計し、各種統計資料を作成します。

4. 入学試験受験時の配慮について

身体上の理由により、受験の際に配慮を希望する場合は、本学 web サイト「入学試験受験上の配慮をご希望の方へ」
[https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exam_support/]の内容をご確認の上、以下の期日までに申請(相談)に必要な書類を入学センター(e-mail:nyushi@musabi.ac.jp)までお送りください。また、出願後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)により配慮が必要となった場合は、速やかに入学センターにご連絡ください。

2025 年 12 月 1 日(月)16:30 必着

*入学試験に合格し、入学する場合は改めて「支援要望書」を提出いただき、新入生・所属研究室・保健室等との面談により支援内容を決定します。要望内容によっては、入学試験時には対応可能であっても入学後の継続的な対応ができかねる場合がありますことを、あらかじめご承知おきください。

5. 募集人員

造形芸術専攻 6 名 (作品制作研究領域、環境形成研究領域、美術理論研究領域、3領域合計)

6. 事前面談

出願前に指導希望教員と面談し、出願書類の「入学志願書(本学所定の用紙)」に指導担当教員および指導担当教員が所属する研究室の主任教授の承諾署名を受けることが必要です。出願承諾がない場合は出願を受理しません。教員との連絡方法が不明な場合は 2025 年 9 月 17 日(水)までに入学センターへ申し出てください。

7. 出願資格

大学院博士後期課程入学資格(1)～(6)のいずれかに該当する者または 2026 年 3 月 31 日までに該当する見込で、2026 年 4 月 1 日までに 24 歳に達する者が出願できます。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者。
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者。

※ 出願資格(6)による志願者は、事前審査が必要です。2025 年 8 月 30 日(土)までに書類を提出して審査を申し込んでください。

「個別入学資格審査」: <https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exceptional/>

8. 外国籍(日本の永住資格保持者を除く)の志願者の出願条件

博士後期課程出願資格に該当していることに加えて、出願時に日本語能力レベルが次のいずれかであることが必要です。
ただし日本国内の大学院を修了または 2026 年 3 月までに修了見込の者を除きます。

- 日本留学試験(EJU)の「日本語(読解、聴解・聴読解)」で 280 点以上を得点していること
2024 年 6 月、2024 年 11 月、2025 年 6 月、2025 年 11 月実施回を有効とする。
- 日本語能力試験(JLPT)で N1 レベル以上に合格していること
2011 年以降に実施したものを有効とする。ただし結果が出ていること。

9. 博士後期課程選抜の流れ





10. 出願書類

出願時にメール提出	①入学志願書（巻末の様式を使用） (1)・(2)両方提出してください。 事前に指導希望教員と面談し、指導希望教員および指導教員が所属する研究室の主任教授の署名、出願承諾印が捺印されたものを提出してください。出願承諾印がない場合は受理しません。 ②研究計画書（巻末の様式 4 枚全てを使用） 欄内・枚数内に収まるよう、明瞭・簡潔に記述してください。 ③提出作品自己作成証明書（巻末の様式を使用） 提出する作品（ポートフォリオ収録作品、ポートフォリオそのもの、も含む）が、本人が作成したものであることを誓約し、指導教員からその証明を取得してください（家族や友人による証明は不可）。 ④制作のテーマおよび意図 提出する作品のテーマと意図を 2,000 字程度で解説してください。（作品すべての解説を合計して 2,000 字以内）。書式自由。 ⑤検定料払込を証明する書類 「振替払込請求書兼受領証」（郵便局の受付印入り）または「外国送金依頼書」（送金銀行の受領印入り）のコピー。 ⑥在留カードの両面のコピー（外国籍の方。日本の永住資格保持者含む） ＊裏面に記載がなくてもコピーを取ってください（記載がないことを確認します）。 ＊A4 サイズ用紙にコピーしてください。 ⑦日本語能力レベルを証明する書類（日本国内の大学院を修了または 2026 年 3 月までに修了見込者を除く） ＜表 1＞を参照の上、日本語能力試験（EJU）と日本語能力試験（JLPT）どちらかを選び、提出してください。 ⑧提出作品画像（作品制作研究領域、環境形成研究領域の志願者のみ） A4判の用紙 1 枚に提出する作品の画像をまとめたもの。インスタレーション等の場合は全景がわかるもの。動画作品の場合は不要。 ⑨動画作品（提出希望者のみ） 作品を YouTube に投稿し、URL を出願期限の 1 月 9 日（金）15:00 必着でメール（nyushi@musabi.ac.jp）にて提出すること。タイトルは「2026 年度博士後期課程選抜 動画作品提出 氏名」とすること。
出願時に郵送提出	⑩修士課程の修了（見込）証明書（＜表 2＞を参照） ・外国の大学院の場合は、修了（見込）証明書に加えて、修士の学位取得（見込）証明書も提出してください。修了証明と学位取得証明が一枚にまとまっている場合は、一枚のみ提出してください。 ・日本国内の大学院を修了（見込）の場合には原則 3 か月以内発行の証明書を提出してください。 ・中国本土の教育機関を卒業された方は修了（見込）証明書に代えて以下の認証書でもかまいません。 ●CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」（卒業見込者は英文の「Online Verification Report of Student Record」） ●CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」 詳細は、CSSD(CHESICC)の Web サイト(https://www.chsi.com.cn/en/)を確認してください。 発行に時間がかかる場合もあるので、十分に余裕を持って申請してください。 ⑪修士課程の成績証明書（＜表 2＞を参照） 日本国内の大学院を修了（見込）の場合には原則 3 か月以内発行の証明書を提出してください。 ⑫武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金奨励生採用願（対象者のみ） 詳細は p.10 を参照してください。 対象者は巻末の様式を使用してください。 ⑬修士制作・論文推薦書 修士制作・論文の指導教員、あるいは同研究領域の専門家による推薦書を提出してください。書式は自由ですが、巻末の書式を使用しても構いません。

<表1>

日本留学試験(EJU)で出願する場合			日本語能力検定(JLPT)で出願する場合		
以下4回を対象とします 2024年6月、2024年11月、2025年6月、2025年11月			2011年以降に実施したものを有効とします ただし結果が出ていること		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
COPY	COPY	EJUオンライン から印刷	COPY	COPY	COPY

<表2>

原本が日本語または英語の場合		原本が日本語または英語以外の言語の場合	
原本を提出	・大使館などの公的機関または日本語学校(現在日本国内の日本語学校に在籍中の場合のみ可能)で証明を行う場合	・中華人民共和国公証役場で証明を行う場合	
	原本と大使館などの公的機関または日本語学校で証明した日本語または英語訳の原本の両方を提出	公証役場が作成した「公证书」原本を提出	
原本	原本	原本	原本

11. 試験日程および提出物

領域	日時		試験内容、提出物内容
作品制作研究領域	2月25日(水)	9:30~10:30	筆記試験 「外国語(英語)」 ・ 冊子辞書のみ使用可。電子辞書は不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。
		11:00~13:00	筆記試験 「小論文」 ・ 辞書使用不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。
		14:00~ (志願者数により変更 する場合があります)	作品提出 「最近の制作作品」 ・ 修士制作を含み 3 点以内とする。 ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 原則として壁面へ立てかけまたは床置きして提出する。 ・ 設置に大きなスペース、長時間を要する作品、インсталレーションなどの作品は、作品実物ではなく、全景、作品の特徴がわかる画像、動画にて提出すること。 ・ 搬入搬出に人手が必要な場合は個人で手配すること。 ・ 展示のための什器(台座、スタンド、自立パネル、イーゼル等)は自身で用意すること。 ・ 動画作品は YouTube に投稿すること。 動画の URL を出願期限の 1 月 9 日(金)15:00 必着でメール(nyushi@musabi.ac.jp)にて提出すること。タイトルは「2026 年度博士後期課程選抜 動画作品提出 氏名」とすること。 ・ 暗室を利用した展示は不可。 「ポートフォリオまたは論文のファイル」 ○ポートフォリオ ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 日本語以外の場合は日本語解説を添付すること。 ○論文のファイル ・ 出願期限の 1 月 9 日(金)15:00 必着でデータ転送または出力したものを郵送して提出すること。該当する論文ファイルがない者は提出不要。 ・ 日本語以外の場合は日本語の翻訳をつけること。
	2月25日(水) または 2月26日(木)	個別に通知	口述試験 ・ 2月25 日または2月26 日のいずれか1日。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。 ・ 作品、ポートフォリオ、研究計画について冒頭で 15 分程度の発表を求める。 ・ PC、タブレット、発表用レジュメ、手元資料の持込は認めない。
	2月25日(水) または 2月26日(木)	口述試験終了後	作品搬出

領域	日時		試験内容、提出物内容
環境形成研究領域	2月25日(水)	9:30~10:30	筆記試験 「外国語(英語)」 ・ 冊子辞書のみ使用可。電子辞書は不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。
		11:00~13:00	筆記試験 「小論文」 ・ 辞書使用不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。
		14:00~ (志願者数により変更 する場合があります)	作品提出 「最近の制作作品または論文(修士制作・論文を含む)」 ○最近の制作作品 ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 原則として壁面へ立てかけまたは机の上に置く。 ・ 設置に大きなスペース、長時間を要する作品は、作品実物ではなく、全景、作品の特徴がわかる画像、動画にて提出すること。 ・ 搬入搬出に人手が必要な場合は個人で手配すること。 ・ 展示のための什器(台座、スタンド、自立パネル、トルソー等)は自身で用意すること。 ・ 動画作品は YouTube に投稿すること。 動画の URL を出願期限の 1 月 9 日(金)15:00 必着でメール(nyushi@musabi.ac.jp)にて提出すること。タイトルは「2026 年度博士後期課程選抜 動画作品提出 氏名」とすること。 ○最近の論文 ・ 出願期限の 1 月 9 日(金)16:00 必着でデータ転送または出力したものを郵送して提出すること。修士論文を課されていないなど、該当しない者は提出不要。 ・ 日本語以外の場合は日本語の翻訳をつけること。 「ポートフォリオまたは論文のファイル」 ○ポートフォリオ ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 日本語以外の場合は日本語解説を添付すること。 ○論文のファイル ・ 出願期限の 1 月 9 日(金)15:00 必着でデータ転送または出力したものを郵送して提出すること。該当する論文ファイルがない者は提出不要。 ・ 日本語以外の場合は日本語の翻訳をつけること。
	2月25日(水) または 2月26日(木)	個別に通知	口述試験 ・ 2月25日または2月26日のいずれか1日。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。 ・ 作品、ポートフォリオ、研究計画について冒頭で 20 分程度の発表を求める。このときプレゼンテーションのソフトウェアを利用してよい。試験室にプロジェクタとスクリーンを用意するので、ノート PC を持参すること。
	2月25日(水) または 2月26日(木)	口述試験終了後	作品搬出

領域	日時		試験内容、提出物内容
美術理論研究領域	1月9日(金)15:00 必着 データ転送または 出力したものを郵送		事前提出 「修士論文」 ・ 別刷りまたはコピーを提出のこと(製本不可) ・ 修士課程修了後2年以上経過している場合は、その間の研究論文も併せて提出のこと 「これまでの研究経過をまとめたもの」 ・ 修士論文の要旨を含み、日本語で6,000字程度。
	2月25日(水)	9:30~10:30	筆記試験 「外国語(英語)」 ・ 冊子辞書のみ使用可。電子辞書は不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。
		美術理論研究領域では小論文試験を課さない	
		13:00~ (志願者数により変更 する場合があります)	口述試験 ・ 2月25日または2月26日のいずれか1日。 ・ 口述試験の冒頭で、修士論文について20分程度の発表を求める。プレゼンテーションのソフトウェアを利用してよい。試験室にプロジェクタとスクリーンを用意するので、ノートPCを持参すること。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。
	2月26日(木)	個別に通知	*口述試験予備日 2月25日で終了した場合は2月26日に試験を行わない

12. 受験上の注意

入構	● 開門時間以降試験開始の 30 分前までに入構してください。 ● 受験生以外は入構できません。
受験票	● 受験票を印刷して持参してください。試験当日、受験票が無いと入構できません。紛失等で受験票を再発行する場合による試験時間の延長等はいりません。
時計	● 試験場には時計はありません。必要な場合は持参してください。使用する際はアラーム音等を必ず切ってください。 ● 携帯電話を時計代わりに使用することは禁止します。計算・辞書・通信・撮影等の機能がある時計や電子機器等の試験場内での使用は禁止します。スマートウォッチの使用も禁止します。
携帯電話・スマートフォン・その他の電子機器類	● 試験場内での携帯電話・スマートフォンおよびスマートウォッチ、タブレット、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類の使用は一切禁止します。試験場に入室する前に必ず電源を切り、カバンにしまってください。試験時間中、上記電子機器類をカバンにしまわず、身につけていた場合は不正行為とみなすことがあります。
試験中	● 小論文、外国語試験の際に机上に置けるのは筆記用具、辞書(使用が認められている科目に限る)の他に鉛筆削り、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(中身だけ取り出したもの)、目薬のみです。ひざかけ、レッグウォーマー等は無地のものに限り使用できます。 ● 英文字、地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合、脱いでもらうことがあります。 ● 試験時間中に発病その他の事故などが起きたときは、試験監督へ申し出て指示に従ってください。
失格	● 受験すべき科目を 1 科目でも受験できなかった場合は失格(不合格)となり、以降の試験科目は受験できません。
昼食	● 試験が午前・午後にはわたる場合は、昼食を持参してください。構外に買いに出ることはできません。
解答	● 試験の解答の所有権、著作権は本学に帰属し、解答用紙等の返却はいたしません。 ● 本学の入試資料として入学試験問題集や入学試験ガイド、本学 web サイト等に掲載、進学説明会等で展示することがあります。
感染症	● 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、結核、はしか、新型コロナウイルス感染症等)に罹患している場合は、他の受験生や試験監督等への感染の恐れがあるため、受験をお断りします。なお、この場合であっても追試験等の特別措置は行いません。

13. 不正行為

以下に例示した行為をした場合、不正行為とみなすことがあります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止、退室を命じ、以降の受験は認めません。また、受験したすべての科目の成績を無効とします。なお、入学検定料は返還しません。

- ① 出願の際に提出した書類、資料、情報等に偽造、虚偽記載、剽窃等があった場合。
- ② カンニング(カンニングペーパー・参考書・スケッチブック・スクラップブック等の素材集を使用する、小論文・外国語試験において他の受験者の答案等を見ること、他の者から答えを教わる等)をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験開始の指示の前に問題を見る、解答を始める、裏面・余白等へ書き込みを行うこと。
- ⑤ 試験中断、終了の指示に従わず、用具を持っている、解答を続けること。
- ⑥ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等をカバンにしまわず、手に持ったり、身につけていること。
- ⑦ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・時計の音(着信音、振動音、アラーム等)を鳴らすこと。
- ⑨ 他の受験者と用具の貸し借りや私語をすること。
- ⑩ 試験時間中に試験監督の許可なく自席を離れること。
- ⑪ 試験場において他の受験者に迷惑となる行為をすること。
- ⑫ 試験場において試験監督の指示に従わないこと。
- ⑬ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

14. 在留資格「留学」の更新について

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方および入学までに在留期限が切れる方は、入学手続とあわせて、在留資格の取得または在留期間の更新が必要です。

「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人(武蔵野美術大学)が、日本国内の法務省出入国在留管理庁(入国管理局)に「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。詳細については、合格者向け web サイトにて確認してください。

在留資格認定証明書の代理申請や在留期間更新・在留資格変更の申請に必要な資料の作成は、入学手続の完了確認後です。希望する場合は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了してください。

詳細は国際チーム(留学生担当)(e-mail: ryugaku@musabi.ac.jp)へ問い合わせてください。

なお、在留資格が「留学」である方は、修学環境の整備に関する諸費用相当分として留学生修学環境整備費(年間 363,000 円)を納入いただきます。

※ 出入国在留管理庁より「在留資格認定証明書」または、「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、入学取り消しとなる場合があります。

15. 武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金制度

武蔵野美術大学通学課程の卒業生、武蔵野美術大学大学院修士課程の修了生を対象とし、大学院博士後期課程に在学する優秀で意欲のある学生を援助することを目的として、「武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金制度」を設けています。

○対象者

武蔵野美術大学通学課程を卒業若しくは武蔵野美術大学大学院修士課程を修了又はその両方の者。

○奨学金額

年間授業料の半額を贈与(後期分授業料の免除によって代替します)。

○受給期間

3 年間(休学期間中は奨励生となることはできません)

○出願および審査等

希望者は他の出願書類とあわせて「武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金奨励生採用願」を提出してください。人物および能力を審査して、入学の可否とあわせて通知します。

なお、奨励生に採用された方は、武蔵野美術大学奨学金をあわせて受給することはできません。

16. 学費

2026 年度の学費は以下のとおりです。

【在留資格が「留学」以外の方】

	前期分(入学手続時)	後期分(9 月)	年間
入学金	150,000 円	-	150,000 円
授業料	605,000 円	605,000 円	1,210,000 円
維持費	19,000 円	19,000 円	38,000 円
施設設備費	55,000 円～165,000 円	55,000 円～165,000 円	110,000 円～330,000 円
合計	829,000 円～939,000 円	679,000 円～789,000 円	1,508,000 円～1,728,000 円

- * 本学大学院修士課程修了者の入学金は上記にかかわらず免除します(学部卒業大学、本学大学院修士課程の研究科は不問です)。
- * 本学学部卒業者の入学金は上記にかかわらず 75,000 円とします(学部卒業後に他の大学院修士課程を修了した者、造形学部通信教育課程卒業者を含みます)。
- * 博士後期課程奨励奨学金制度の適用者は後期授業料605,000 円が免除されます。
- * 本学では在籍学生を対象として学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に一括加入しています。保険料として合計 3,620 円(予定)を入学手続時に徴収します。

【在留資格が「留学」の方】

	前期分(入学手続時)	後期分(9 月)	年間
入学金	150,000 円	-	150,000 円
授業料	605,000 円	605,000 円	1,210,000 円
維持費	19,000 円	19,000 円	38,000 円
施設設備費	55,000 円～165,000 円	55,000 円～165,000 円	110,000 円～330,000 円
留学生修学環境整備費	181,500 円	181,500 円	363,000 円
合計	1,010,500 円～1,120,500 円	860,500 円～970,500 円	1,871,000 円～2,091,000 円

- * 本学大学院修士課程修了者の入学金は上記にかかわらず免除します(学部卒業大学、本学大学院修士課程の研究科は不問です)。
- * 本学学部卒業者の入学金は上記にかかわらず 75,000 円とします(学部卒業後に他の大学院修士課程を修了した者、造形学部通信教育課程卒業者を含みます)。
- * 博士後期課程奨励奨学金制度の適用者は後期授業料605,000 円が免除されます。
- * 本学では在籍学生を対象として学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に一括加入しています。保険料として合計 3,620 円(予定)を入学手続時に徴収します。

施設設備費(6か月分)

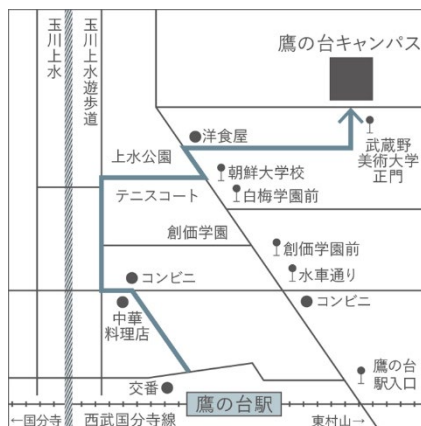
研究領域	施設設備費
作品制作研究領域	165,000 円
環境形成研究領域	165,000 円
美術理論研究領域	55,000 円

17. 武蔵野美術大学(鷹の台キャンパス)交通案内

西武国分寺線「鷹の台」駅より 徒歩約 20 分

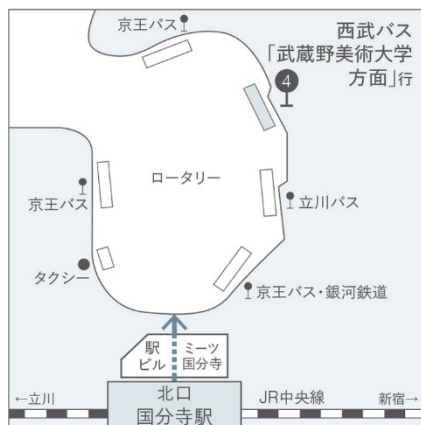
JR 中央線「国分寺」駅乗換、「東村山」行(2 駅目)

西武新宿線「東村山」駅乗換、「国分寺」行(2 駅目)



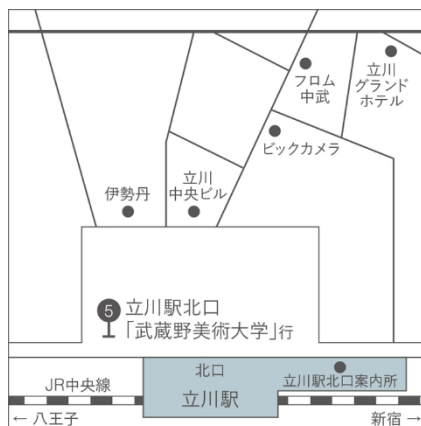
JR 中央線「国分寺」駅より バス約 25 分

「国分寺駅北口」4 番停留所より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行



JR 中央線「立川」駅より バス約 25 分

「立川駅北口」5 番停留所より「武蔵野美術大学」行



①入学志願書(1)

* 大学記入_____

志望研究科	研究科		証明写真欄 ・無帽 ・正面 ・背景無し ・縦4cm、横3cm		
志望研究領域 * 造形研究科のみ	研究領域				
氏名 * 外国籍の者はカタカナ					
氏名(フリガナ)					
氏名(英字) * 外国籍の者のみ					
国籍 * 外国籍の者のみ					
生年月日	年	月	日	性別	☐ 男性 ☐ 女性
修士の学位または 専門職学位を 取得した大学院	☐国立 ☐公立 ☐私立 ☐日本以外の大学院(所在国・地域: _____) 大学院の名称: _____ 年 月 修了・修了見込				
本人現住所・連絡先	〒 _____ 携帯電話 (mobile) _____ E-mail: _____				
緊急連絡先 現住所が国外の者は 日本国内の連絡先を 記載すること	氏名 _____ 本人との関係 _____ 〒 _____ 携帯電話 (mobile) _____ E-mail: _____				
博士後期課程の研究課題 (なるべく簡潔に)					
希望指導教員による 出願承諾署名・印	氏名 _____ 印 _____ 印が難しい場合は署名のみ	希望指導教員が所属する 研究室の主任教授による 出願承諾署名・印	氏名 _____ 印 _____ 印が難しい場合は署名のみ		

②研究計画書(1/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
博士後期課程における研究テーマ	
修士課程までの研究経過	

②研究計画書(2/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
本学での研究を希望する理由	
指導を希望する教員、およびその教員に指導を希望する理由	
博士後期課程修了後の進路または計画	

②研究計画書(3/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
3 年間の研究計画	

②研究計画書(4/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
博士後期課程における研究の内容および特色	

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

③記入例

2026 年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2026 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私(誓約者)が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3 サイズファイル 1冊	2025 年 1 月
2	修了制作	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2025 年 1 月
3	絵画作品	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2024 年 12 月
4	立体作品	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2024 年 12 月
！募集要項をよく読み、指定されている提出物を記入すること			以上 4 点

2026 年 1 月 6 日

志望研究科・専攻 造形研究科 造形芸術専攻

誓約者氏名(自署) 〇〇〇〇 〇〇〇〇



捺印またはサイン

<作成証明>

上記の作品等(ポートフォリオ含む)はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。

なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 1 月 6 日

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(指導教員等) 〇〇〇〇 〇〇〇〇



捺印またはサイン

受験生との間柄 修士課程指導教員

連絡先(e-mail または電話番号) XXXXXXXXX@XXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

⑨

様式第 1 号

武蔵野美術大学大学院博士後期課程 奨励奨学金奨励生採用願

ふりがな	
氏名	印
生年月日	年 月 日生(満 歳) 男・女
現住所	〒 電話番号:

武蔵野美術大学
学長 殿

武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金規則により
奨励生として採用していただきたくお願いいたします。

記入日

年 月 日

本人氏名

印

保証人氏名

印

本人との続柄

保証人生年月日

年 月 日

保証人現住所

保証人電話番号

保証人 E-mail

⑩造形研究科推薦書様式

推 薦 書

武蔵野美術大学大学院 造形研究科 博士後期課程 造形芸術専攻

入学志願者 _____ を下記のとおり推薦します。

年 月 日

推薦者 所属・職名 _____

氏名 _____

入学志願者の研究適正、研究業績、修士論文等の研究内容等について記述してください。

*修士制作・修士論文推薦者は、修士課程指導担当教員または同研究領域の専門家。

*推薦書は封緘のうえ志願者本人へ渡すか、入学センターへ期限内に直接ご提出ください。

郵送提出 〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736
武蔵野美術大学入学センター 大学院博士後期課程志願書受付係
電話:042-342-6995

メール提出 nyushi@musabi.ac.jp
武蔵野美術大学入学センター 大学院博士後期課程志願書受付係

郵便切手

速達

1

8

7

8

5

0

5

速達・簡易書留【出願書類在中】

二つ折り厳禁

東京都小平市小川町 1 丁目 736 番地

武蔵野美術大学

入学センター

大学院博士後期課程選抜受付係

大学院博士後期課程選抜 出願期間 2026 年 1 月 6 日～1 月 9 日（必着）

住所

氏名

電話番号